

女川原子力発電所周辺の 環境放射能調査結果

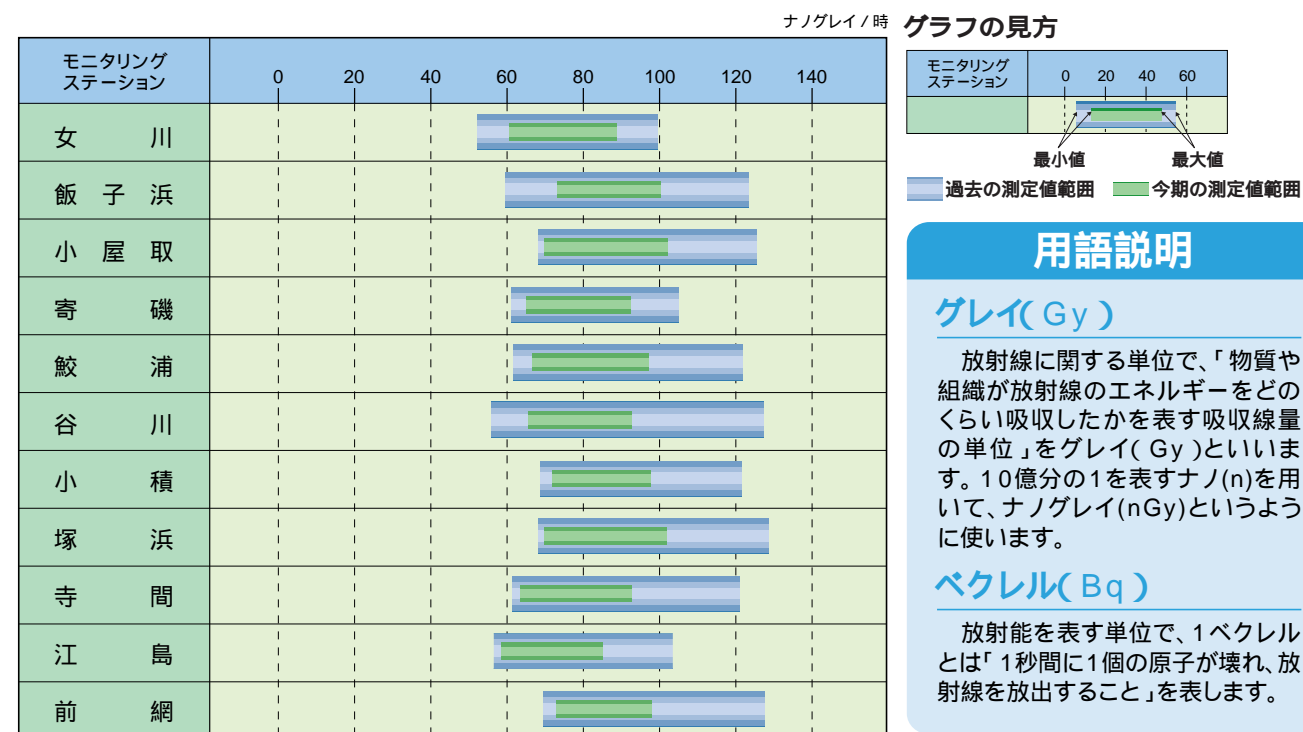
(平成19年7月～9月)



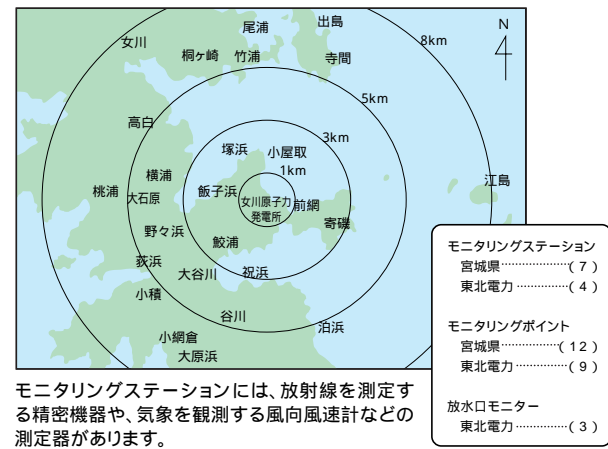
今期の調査の結果、女川原子力発電所による放射線および放射能の環境への影響は認められませんでした。

1 放射線の強さ (空間ガンマ線線量率)

今期の調査結果は、下図のように過去の測定値の範囲内であり、女川原子力発電所による環境への影響は認められませんでした。



モニタリングステーション、モニタリングポイント及び放水口モニター設置地点



モニタリングポイントとは?

女川原子力発電所周辺において、空間ガンマ総積算線量を測定するための無人測定点が「モニタリングポイント」です。県および東北電力(株)は、発電所周辺に計21カ所のモニタリングポイントを設置し、3ヶ月ごとの積算線量を測っています。



2 環境試料中の放射能濃度

昭和56年からの調査開始以来、陸の試料としては今回初めて「よもぎ」中に微量のCo-60(コバルト60)が検出されましたが、その他の試料については、Co-60は検出されず、またCs-137やSr-90の値も過去の測定値の範囲内であり、女川原子力発電所による環境への影響は認められませんでした。

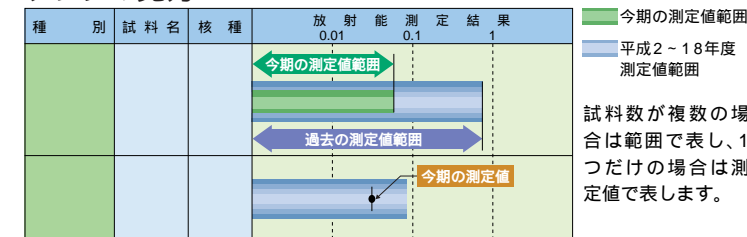
種別	試料名	核種	放射能測定結果						単位	試料数	採取月
			0.01	0.1	1	10	100	1000			
指標植物	よもぎ	Co-60							ベクレル/kg生	2	7
指標植物	よもぎ	Sr-90							ベクレル/kg生	2	7
指標植物	よもぎ	Cs-137							ベクレル/kg生	2	7
指標植物	松葉	Cs-137							ベクレル/kg生	1	8
魚介類	あいなめ	Cs-137							ベクレル/kg生	1	7
魚介類	うに	Cs-137							ベクレル/kg生	1	7
海水	表層水	Cs-137							ベクレル/リットル	2	7
海底土	表層土(土砂)	Cs-137							ベクレル/kg乾	2	7
指標海産物	あらめ	Sr-90							ベクレル/kg生	1	8
指標海産物	あらめ	Cs-137							ベクレル/kg生	5	8

今回の調査で測定したが検出されなかった試料

試料名	核種
水道原水(飲料水)、海水(表層水)	H-3
あいなめ、ほや、むらさきいがい	Sr-90
降下物(月間、四半期間)、水道原水(飲料水)、浮遊じん、ほや、むらさきいがい	Cs-137

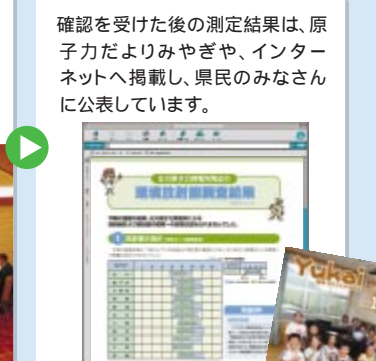
核種/H-3…トリチウム Sr-90…ストロンチウム90 Cs-137…セシウム137 Co-60…コバルト60といひます。

グラフの見方



環境放射能や温排水の測定結果を、定期的にお知らせしています。

県及び東北電力(株)が測定した環境放射能、温排水などのデータは右の図のようなプロセスを経て、県民のみなさんに公表しています。

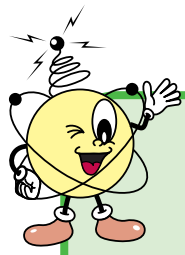


県及び東北電力(株)が、環境放射能や温排水を調査・測定します。

測定したデータについて、専門家の人たちが環境に異常がないか評価・確認します。

確認を受けた後の測定結果は、原子力だよりみやぎや、インターネットへ掲載し、県民のみなさんに公表しています。





女川原子力発電所周辺の 温排水調査結果

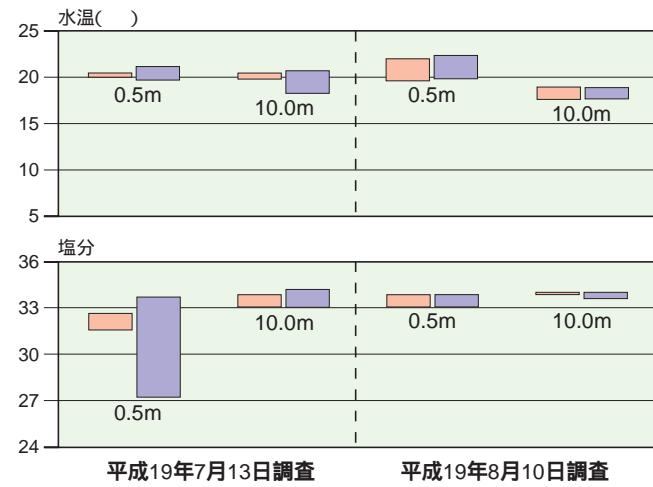
(平成19年7月~9月)



今期の調査の結果、女川原子力発電所周辺の
温排水によると考えられる異常な値は観測されませんでした。

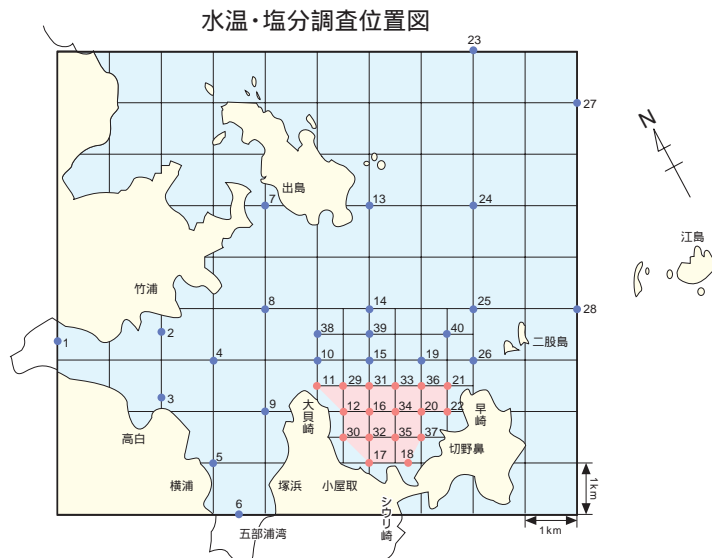
1 水温・塩分調査

今期の調査結果から、温排水によると考えられる異常な値は、観測されませんでした。



前面海域 周辺海域

注1 前面海域とは大貝崎と早崎を結ぶ線の内側(調査点11,12,16,17,18,20,21,22,29-37)をいいます。
注2 0.5m,10.0mは、調査水深を表しています。



用語説明

放水口モニター

放水口モニターは、発電所の放水路より海水(放水)を採取し、発電所放水口付近の陸上に設置されたNaI(Tl)検出器により、海水(放水)中の放射能(全ガンマ線計数率)を連続的に測定する設備で、1号機から3号機の各号機に設置されています。



放水口モニター(2号機)

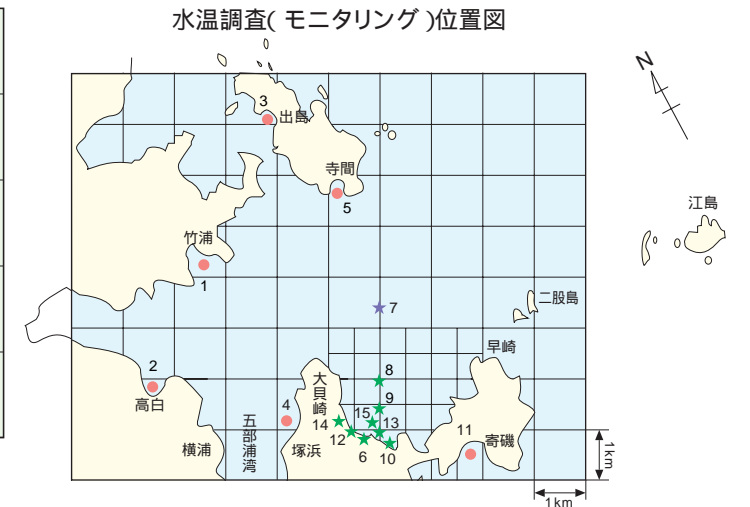
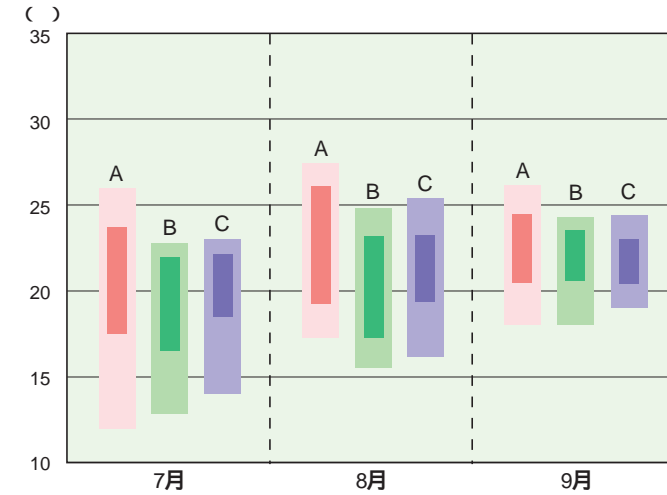


放水口モニター監視盤(2号機)

2 水温連続モニタリングによる水温調査

今期の調査結果から、温排水によると考えられる異常な値は、観測されませんでした。

(イ)水温測定範囲



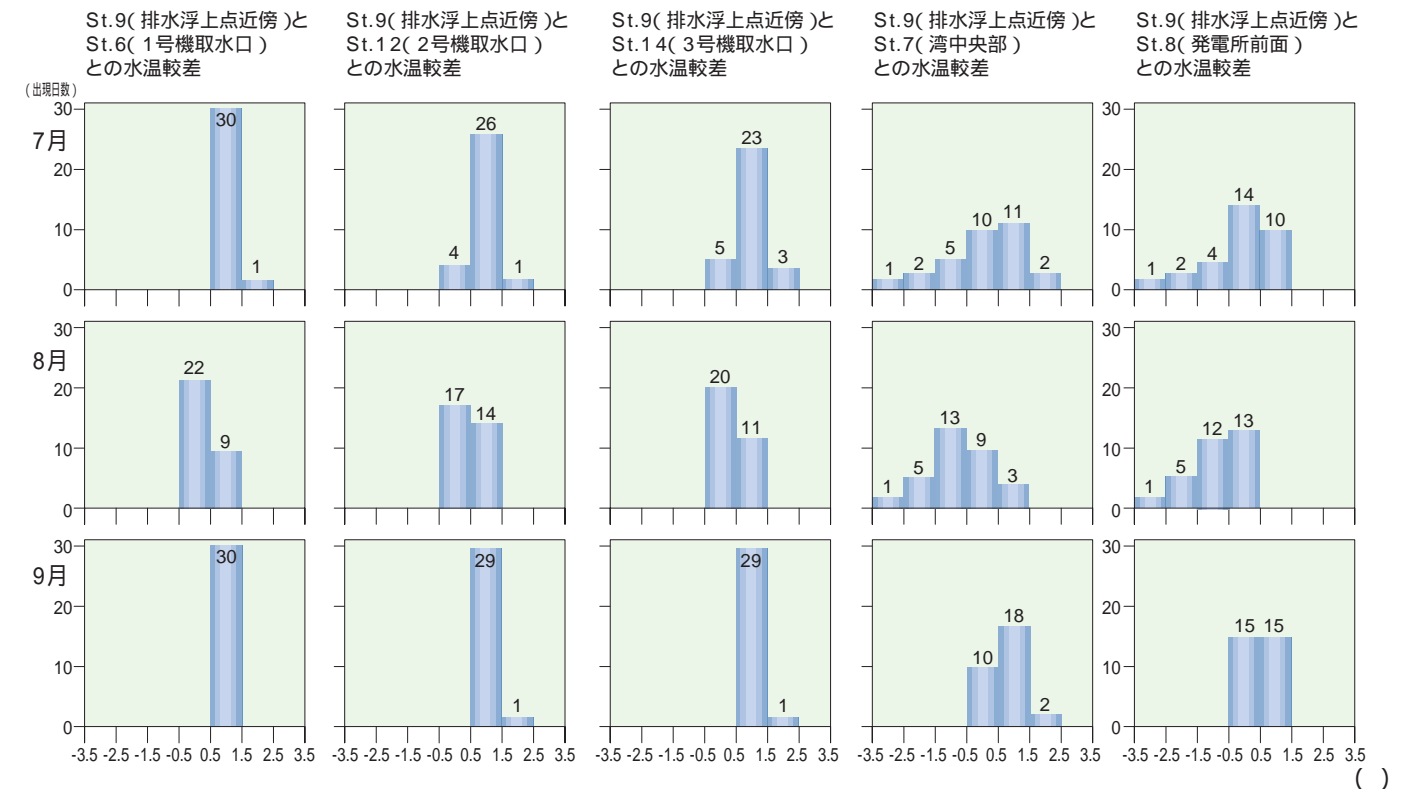
凡例
A:女川湾沿岸(St.1~5,11)県調査地点
B:前面海域(St.6,8,9,12,14)東北電力調査地点
C:湾中央(St.7)東北電力調査地点

グラフの見方

水温連続モニタリングにより海水温を測定しています。

今期の測定値範囲
昭和59~平成18年度の測定値範囲

(ロ)測定点間の水温較差



グラフの見方

このグラフは、取水口と浮上点の海水の温度差が現れた日数を示しています。例えば、左上のSt.9とSt.6の9月のグラフでは、温度差が0.5~1.5の日が30日間計測されたことを表しています。